



夢に向かって

発行：進路指導部

中学部生徒全員が職場体験実習へ行きました！

11月11日から13日までの3日間、中学部生徒全員が職場体験実習に行きました。そのことについて報告します。

中学部段階で、職場体験実習を実施している特別支援学校はまだ多くありません。本校では、今年度5年目になりました。「トライやる・デイ」という名称になり、3年目です。中学部1年生から3年生までの全員が8か所の実習先で1日体験をしました。

中学部1年生の時からこのような職場体験実習をすることで、早期から社会経験を深め、職業観を養うことができると考えられます。

〈実習先と主な実習内容〉

- ① 神戸市立点字図書館：図書館の本のダビング作業、貸出作業、製本作業、施設体験
- ② ゆとり作業所：ガラス細工で魚の模様のマグネット作成
- ③ 本校理療科：臨床医学授業見学、鍼打ち体験、あん摩体験
- ④ 東垂水ふれあいのまちづくり協議会：掃除、折り紙、職員の方との交流
- ⑤ 和みの海(就労継続支援B型と生活介護の多機能型障害福祉サービス事業所)：プチプチシート重ね、袋詰め

- ⑥ 株式会社トーホーストア 滝の茶屋店：掃除、品出し、氷詰め、接客、商品整理、おせちのアナウンス
- ⑦ ラーフの森（就労継続支援B型の障害福祉サービス事業所）：セルびんのふたの着脱、ペットボトルにおはじきを入れる作業、畑体験
- ⑧ 博由園（生活介護）：施設体験、ラジオ体操、レクリエーション、利用者様との交流

<生徒の感想>

- ・点字図書館はとても広くて、いろいろな機械があった。本の貸出、返却を郵送で行っていることが分かった。この体験を通して、いろいろなジャンルの本を読みたいと感じた。点字本を読むスピードをもっと速くしたい。
- ・オリエンテーションの説明や授業を受けさせていただき、今のうちに勉強を頑張りたいと思った。あん摩体験ができて良かった。
- ・スーパーでの品出しが大変でした。特に冷凍食品を入れる時に、手が冷たかったです。おせちのアナウンスは、最初は緊張したが、何度も練習し、最後には店員さんにほめられました。もっと挨拶を頑張れたら良かった。
- ・最初は緊張したが、施設で過ごすうちに慣れ、落ち着いて過ごすことができた。
- ・事業所で大きな声で挨拶ができてよかった。
- ・集中して作業に取り組み、細かい作業ができた。
- ・モップ、掃除機、雑巾などを使い掃除を頑張れた。
- ・作業はしんどかったが、頑張ることができて良かった。